

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和07年06月26日

計画の名称	湖西市における既設住宅ストックの改善（地域住宅計画（防災・安全））													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	湖西市													
計画の目標	『安心・安全で住みやすい住環境整備を実現する』（地域住宅計画）													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		83	A	78	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	6.02	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年度当初		令和7年度末
1	湖西市における耐震性が確保された住宅の割合を令和7年度末までに95%に上げる。（地域住宅計画） 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 （住宅の耐震化率）＝（耐震性が確保された住宅数／（全住宅数）（％）	89%	%	95%
2	湖西市における狭あい道路を解消する。 事業の実施状況をもとに算出する。 狭あい道路整備延長	0m	m	350m

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
湖西市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A16-003、湖西市国土強靱化地域計画に明記された要素事業：A16-001、A16-002												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	湖西市	直接	湖西市	－	－	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断及び相談支援事業	湖西市	■	■	■	■	■	7		－
	A16-002	住宅	一般	湖西市	直接	湖西市	－	－	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備等	湖西市			■	■	■	41		－
	A16-003	住宅	一般	湖西市	間接	個人	－	－	住宅・建築物安全ストック形成事業	ブロック塀改善等助成	湖西市	■	■	■	■	■	1		－
	A16-004	住宅	一般	湖西市	間接	個人	－	－	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断及び改修等	湖西市	■	■	■	■	■	29		－
											小計						78		
											合計						78		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	湖西市	間接	個人	－	－	「ブロック塀の安全対策 事業」	ブロック塀改善等助成	湖西市	■	■	■	■	■	3	－	
		地震発生時に倒壊又は転倒の危険性のあるブロック塀等の安全対策を実施し、災害に強いまちづくりを促進する。																	
	C16-002	住宅	一般	湖西市	間接	個人	－	－	耐震シェルター・防災ベ ッド整備事業	耐震シェルター・防災ベッ ドの設置	湖西市					■	2	－	
		耐震シェルターや防災ベッドの設置に対する補助により、震前においてより安心・安全な住宅環境を促進する。																	
											小計						5		
											合計						5		

事前評価チェックシート

計画の名称： 湖西市における既設住宅ストックの改善（地域住宅計画（防災・安全））

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ★①計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ★②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 ★③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 ★④関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 ⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ★①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ★②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 ⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 ⑦地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	
II. 計画の効果・効率性 ⑧地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	
III. 計画の実現可能性 ★①事業熟度が十分である。	○

[illegible]